

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合ビジネス基礎		
担当者(Instructors)	船木 恵一	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この講義では、我が国の戦後の成長戦略や現代社会の問題点など直面している様々な課題の理解に加え、国際情勢の変化や様々な先端技術が与えるビジネスや暮らしへのインパクトなど、知っておくべき時事的なテーマを俯瞰的に学習することで、広く社会全般への見識を深めると同時に、大学生として何を身につけるべきかという主体性を育み、学士力の基礎となる思考力・判断力・表現力の獲得を目指します。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	毎回主要なテーマ(問い)を設定し、問いに関する回答及び関連する知識を講義形式にて説明・学習します。学生は予習・復習することによって、テーマに関する理解をより深めることができます。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション～講師紹介 なのために学習するのか?	授業の進め方、各回のテーマ及び講師紹介、教養として学ぶべき時事テーマとはなにかを理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	国家の戦略 日本は〇〇で食べている〇〇にはどんな言葉が当てはまるのか?	知財立国、観光立国、貿易立国、製造立国、技術立国など政府が掲げてきた成長方針を理解し、日本社会を俯瞰する	<input type="checkbox"/>
第3回	何故地方創生が必要なのか? 日本の根本的な問題とは	東京一極集中、少子高齢化などの日本の構造的な問題を理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	バックスアメリカーナの終焉とは何か? アメリカは何故迷走するのか?	冷戦終了後の世界情勢の推移、米中对立時代を理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	2027年リニア新幹線開通で名古屋はどう変わるのか?	東京五輪後の大阪万博、名古屋アジア大会、リニア新幹線開通がもたらす名古屋へのインパクトを理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	地球温暖化や気候変動問題とは何か?	気候変動、エネルギー・食料・水資源問題、災害大国ニッポンのとるべき道を考察する	<input type="checkbox"/>
第7回	外国出身の市長は誕生するのか?	難民問題と隠れ移民大国ニッポン、外国人労働者の増加が社会をどう変えるのかを考察する	<input type="checkbox"/>
第8回	中間まとめ	前半講義の振り返りとキーワード復習を行う	<input type="checkbox"/>
第9回	先端通信技術は私達の暮らしやビジネスをどう変えるのか?	サブスクリプションビジネス、第5世代通信システム、xR技術とはどういうものか、仕事や社会へのインパクトを理解する	<input type="checkbox"/>
第10回	スポーツの商業化は私達を幸せにするのか?	BリーグやTリーグの誕生、eスポーツの隆盛、教育や健康促進からエンターテインメントへ変化するスポーツの商業化を俯瞰する	<input type="checkbox"/>
第11回	人工知能(AI)は人類を超え、クルマは空を飛ぶのか?	IoTやAIがもたらすソサエティ5.0や第4次産業革命、CASEと言われる自動車産業の変化の方向性、人工知能開発の現状を理解する	<input type="checkbox"/>
第12回	生命工学で人間は神になれるのか?	クローン技術等の最先端バイオテクノロジーや遺伝子ゲノム操作の何が問題なのか、最先端医療技術が変える未来を俯瞰する	<input type="checkbox"/>
第13回	人は何故ゲームにハマるのか?	スマホ依存症などの中毒ビジネスの構造を理解する	<input type="checkbox"/>
第14回	プラットフォーム競争とは何か?	コンピュータとメディアが融合する高度情報化社会～GAFAの優位性と各国の規制を理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	人生100年時代の働き方～後半まとめ	これからの人生設計の考え方～後半授業の振り返りとキーワード復習	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

初回と前後半のまとめ授業以外は、必ずテーマについて2時間程度調べその内容をレポートできるように準備してください。講義後は、配布資料を用いたり、自身で検索したりメディアのニュースを見たり、授業前に調べた内容と講義内容を照らし合わせ、新たな疑問点を抽出

し2時間程度復習することで、テーマやキーワードの内容の理解を深めてください。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回所定のフォーマットを配布します。(1) 講義後に学習した内容を記入。(2) 自身の学びのポイントを整理して記入提出。フォーマットには講義への要望なども記載可能ですので、教員とのコミュニケーションが図れます。記入内容は添削・採点の上、翌々週の講義時間前に返却しフィードバックを行います。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019地域ビジネスDP1	企業経営全般に影響を与えるメガトレンドに関する知識および技能を身につけている

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常点とは出席点ではありません。毎回のレポート(配布フォーマットへの記入と提出)の内容を評価します。また前期中に2度の論文課題の提出を求めます。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。教員はスライド及び配布資料を用意します。	
2		
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	各回のテーマに沿って講義内で紹介します	
2		
3		
4		
5		